

基本方針1 誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備**地域の移動課題対策支援事業** (【基本方針2】【基本方針3】にも関連) ○**【実施内容】**

- ・東谷地域において、訪問型支えあい活動事業を活用したボランティア輸送導入に向けた技術的支援を実施。
- ・緑台・陽明地域において、現在取組中のボランティア輸送「お出かけ支援」の拡充に向けて技術的支援を実施。
- ・牧の台地域において、阪急バス平野山下線・大和団地線の持続可能な運行に向けて、市長タウンミーティングを実施。

【今後の課題や取組内容】**【課題】**

- ・公共交通の必要性について、地域の意識を醸成することが課題である。
- ・各地域の移動課題を明確にし、解決に向けて取組を進めることが課題である。

【取組】

- ・既に取組を開始している東谷、緑台・陽明、牧の台地域は具体的な取組を支援する。
- ・移動課題の解決を希望する新たな地域への支援を開始する。

モビリティ・マネジメント（MM）の充実 (【基本方針2】にも関連) ○**【実施内容】**

- ・小学生向けMMを7回実施（「川西市とのせでん」、「交通すごろく」、「バスの乗り方○×クイズ」など）。
- ・小学校4・5・6年生向け阪急バスの副教材を市内各小学校へ配布。
- ・地域主体のイベントでバスの乗り方教室などのMMを実施（緑台・陽明地域・牧の台地域）。
- ・市民課窓口で転入者に対し、阪急バスのノリセツを配布。

【今後の課題や取組内容】**【課題】**

- ・小学生から高齢者までの全世代を対象としたモビリティ・マネジメントをいかにして広げていくかが課題である。

【取組】

- ・学校MM、住民MMには継続して取り組む。
- ・各地域や学校教育等で自主的に取り組んでいただける方法を模索する。
- ・阪急バスの副教材を活用した授業の実現をめざし関係各所との調整を実施する。

安全対策の推進 ○**【実施内容】**

- ・能勢電鉄 平野駅～一の鳥居駅間で豪雨対策工事を実施。（国・県・市補助あり）
- ・能勢電鉄 小戸第1踏切道の警報器の更新（閃光灯両面化）。（能勢電鉄単独事業）

【今後の課題や取組内容】**【課題】**

- ・基幹公共交通が安心・安全に運行できるよう計画的に対策を実施していくことが課題である。

【取組】

- ・引き続き、能勢電鉄(株)は主体的に減災対策に取り組み、市は財政支援を行う。

【実施内容】

- ・交通事業者の課題を把握し、解決に向けて協議を行った（合計3回開催）。

(主な課題) 人員不足への対応、川西能勢口駅周辺の渋滞対策、利用促進

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・各交通事業者が抱える本質的な課題の共有やそれに対する具体的な解決策への取組が課題である。

【取組】

- ・継続して会議を開催し、鉄道、バス、タクシーの各交通事業者及び学識者と連携をとり課題解決を図る。

【実施内容】

- ・川西能勢口駅周辺に違法駐車対策のナッジ看板を3ヶ所設置。
- ・交通安全対策連絡会議を立ち上げ、交通事故減少や渋滞・違法駐車対策への取組を関係行政機関が連携して推進する体制を構築。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・実行性のある違法駐車対策を構築し、渋滞緩和による路線バスやタクシーの定時性を確保することが課題である。

【取組】

- ・ナッジ看板設置の効果検証をしつつ、さらなる違法駐車対策に向けて、乗り越え防止柵の設置等を検討する。

【実施内容】

- ・事業者連絡会において、利用環境向上に向けたサブスク運賃の導入の実現可否など現在の課題を共有。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・タクシーの利用環境を向上し、交通空白地・不便地の移動手段を確保することが課題である。

【取組】

- ・事業者連絡会を活用し、利用環境の向上に向けた取組を検討する。

【実施内容】

- ・特になし。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・移動が困難な方の移動手段を確保することが課題である。

【取組】

- ・事業者連絡会を活用し、ユニバーサルデザインタクシーの導入に向けた課題を整理する。

【実施内容】

- ・能勢電鉄主催の「公共交通利用に関する連絡会」において、能勢電鉄・猪名川町・豊能町との情報交換や課題の

共有等、連携推進を図ることができた。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・隣接自治体と公共交通の課題解決に向けた連携が課題である。

【取組】

- ・市域をまたがる公共交通の持続可能な運行について、交通事業者を交えて連携を深めていく。

基本方針2 環境にやさしくまちの賑わい向上につながる公共交通の利用環境の整備

公共交通利用者増に向けた取組の実施



【実施内容】

- ・市内イベントに公共交通で来場された方に対して、帰り分の能勢電鉄と阪急バスの無料乗車券を配布。

『秋の全国交通安全フェア 2024』

　阪急バス：20枚　能勢電鉄：26枚

『川西フェスタ 2024』

　阪急バス：80枚　能勢電鉄：100枚

『阪急バスグループお客様感謝 Day2024 & 都市緑化祭』

　阪急バス：184枚　能勢電鉄：270枚

- ・交通事業者において、利用者増に向けた取組を実施

<阪急バス>

- ・「バス停フォトラリー！」の実施：R6/3/23～5/6
- ・「夏バスわくわくキャンペーン」の実施：R6/7/20～8/31
- ・「トムとジェリー×阪急電車」ラッピングバスの運行・1日乗車券の発売：R6/8/23～R7/3/25
- ・阪急バスの乗り方説明パンフレット「ノリセツ」製作・配布：R6/10
- ・能勢電鉄ダイヤ改正に伴う時刻調整：R7/2/22
- ・モビリティ人材育成事業の実施

　多田グリーンハイツ「おさんぽマルシェ」開催時における利用促進施策についてのワークショップを開催
　：R6/9/28、10/19

　ワークショップのアイデアにより、おさんぽマルシェ当日に路線バスを無料化、バスの乗り方教室を開催
　：R6/11/16

<能勢電鉄>

- ・「のせでんレールウェイフェスティバル 2024 春」の開催：R6/4/27
- ・「のせでんめぐるリアル謎解きゲーム」の開催：R6/4/26～R7/1/31
- ・「のせでん怪談電車」の開催：R6/7/1～9/30
- ・「風鈴電車《夏風にゆられて》」の運行：R6/8/4～9/5
- ・「トムとジェリー×阪急電車」のせでんオリジナルヘッドマークの掲出：R6/8/23～R7/3/27
- ・「のせでんレールウェイフェスティバル 2024 秋」の開催：R6/11/2
- ・「卒業列車”祝電”」の運行：R7/2/21～3/31
- ・「クレジットカード等によるタッチ決済による乗車サービス」の開始：R7/3/25

<阪急電鉄>

- ・「阪急沿線観光あるき」の実施：R6/4/1～12/31
- ・「くまのがっこう×阪急電車」コラボレーション企画の実施：R6/4/24～7/8
- ・第15回「阪急ええはがきコンテスト」の実施：R6/5/1～8/30
- ・「トムとジェリー×阪急電車」コラボレーション企画の実施：R6/8/23～R7/3/27

<JR西日本>

- ・兵庫デスティネーションキャンペーン アフターキャンペーンの開催にあわせた、ひょうご夏の体験デジタルパスの発売：R6/6/1～9/28

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・市・事業者・地域が利用者を増やすための取組を継続的に実施することが課題である。

【取組】

- ・イベントでの無料乗車券の配布を継続して実施し、普段公共交通を利用しない方に公共交通を利用するきっかけを提供する。
- ・各交通事業者において、利用者増に向けた取組を継続して実施する。
- ・新たな利用促進策を事業者連絡会で検討する。

福祉施設・コミュニティ等と連携した情報発信



【実施内容】

- ・特になし。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・必要な情報や対象者を把握し、発信していくことが課題である。

【取組】

- ・「地域の移動課題対策支援事業」を進めるなかで、地域住民と協力し地域内施設等での情報発信の強化に努める。

EVバスの導入等の推進



【実施内容】

- ・阪急バス(株)と今後の方針を共有。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・環境に配慮した取組を進めていくことが課題である。

【取組】

- ・引き続き阪急バス(株)と連携をとり、必要に応じてEVバス導入を支援する。

基本方針3　日常生活を支える地域内交通サービスの構築

地域住民による訪問型支えあい活動に対する支援（介護保険課）



【実施内容】

- ・地域住民が主体となり地域の実情に応じ実施している「訪問型支えあい活動」を行う団体に対し、活動に要する経費の一部を補助することで活動の継続と発展につなげる「訪問型支えあい活動支援事業」を創設。
- ・車両を利用した生活支援を実施する3地域（明峰、緑台・陽明、けやき坂）の団体に補助金を交付した。

【今後の課題や取組内容】

【課題】

- ・地域住民の主体的な移動に関する取組を支援する仕組みの構築が課題である。

【取組】

- ・令和6年度の事業実施でみえた課題をふまえ、車両を利用した生活支援の新規立ち上げや、活動継続に向けた人材や財源の確保について検討する。